

## 4 中川まちづくりプラン【都筑らしい文化の醸成】

### (実情)

- ・中川駅周辺は水と緑に恵まれ、中川西地区センター、中川地域ケアプラザ、屋外プール、グラウンド、公園の公共施設が充実し、また東京都市大学メディア情報学部/環境学部がある緑豊かな文教住宅地である。駅周辺は中川ルネッサンスプロジェクト等による花と緑のまちづくりが行われている。
- ・地区センターと地域ケアプラザの公共施設での文化・スポーツ・交流活動、ほっとカフェ中川/シェアリーカフェ/ハウスクエア横浜など民間での様々な文化教養イベント、パレット中川での健康づくり、多くのバレエ教室など文化スポーツ活動も盛んである。
- ・ふれあいフェスタ、新春餅つき大会等の商業地区イベント、地区センター祭り、都市大横浜祭、町内会・自治会イベント等の文化交流イベントも盛んである。
- ・2015年から、中川駅周辺の活性化を目的に NPO、地区センター、ケアプラザ、都市大などによる中川のまち活性化プロジェクト意見交換会を発足させ協力を行っている。

### (課題)

- ・中川駅前商業地区は、地域の中心でもあるが、近くにセンター北の大商業地区があるため、商店街としては寂しく、魅力に欠けるきらいがある。地域住民と商業地区振興会との協力により中川ルネッサンスプロジェクトによる花と緑のまちづくり、ふれあいフェスタ等のイベントも定例化し、地域の中心に再生しつつある。

項目	検討会で出された実状と意見	今後の進め方	実施状況
中川の PR	外部からの人は都筑や中川の文化を知らない。	・中川のまち活性化プロジェクトで継続検討する	(2017年) ・ホームページで、Facebook での発信 ・イベントスケジュール PR
	魅力的な山崎公園、烏山公園などの PR が足りない。	・「ヨコハマアートサイト」の地元利用を検討する	(2017年) ・烏山公園、山崎公園、牛久保公園愛護会はホームページを開設し、活動内容を発信 ・中川ルネッサンスプロジェクト、早渕川・老馬谷ガーデンプロジェクトもホームページで活動内容を発信
	ロケ地の積極的な誘致～フィルムコミッションによる経済効果（使われたことの PR も）		

駅周辺のイベント	緑道を使ったアートイベントの積極的な実施。トリエンナーレなどと連携		
	オープンカフェ、マルシェのように、ステージ広場のステージをもっと有効に使えないか。		(2017年) ・保育園児によるハロウィンまち歩きは、参加保育園が6園となり、377名がパレード。 ・ミニヨコ・プラスによる「ミニヨコハマシティ in 中川のまち」が商業地区を使い開催 (2018年) ・春秋の「中川ふれあいフェスタ」のステージ充実 ・保育園児によるハロウィンまち歩きは、参加保育園が5園となり、450名がパレード。

### <2年目の方針と活動結果>

- ・中川のまち活性化プロジェクトのように、地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、活動を盛り上げていく。
  - ⇒様々な団体でのイベントの開催
  - ⇒様々な団体のHPやFBによる発信
  - ⇒NRPの花と緑のまちづくり

### <3年目の活動>

- ・中川のまち活性化プロジェクトのように、地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、活動を盛り上げていく